資料(1)

第9回糸島市総合計画審議会

【第2章、第3章 意見集約票及び事務局対応案】

「第8回糸島市総合計画審議会」の書面審議内容について、委員の皆様からのご意見を集約し、事務局対応案をとりまとめました。

はじめに

意見内容

○資料の構成(豊田委員)

- ・資料①P4 の中央部の回答ありがとうございました。別添「基本構想と基本計画の相関図」を拝見しました。この相関図の右側の「課題」は粒度を細かくして記載すると、納得性が飛躍的に向上すると思います。
- ・例えば最初の行にある「人口の状況【社会増減について】」ですが、本編では「■今後の課題」として「雇用の創出」「子育て・教育環境の充実」「多文化共生社会への対応」が謳われており、この粒度に対してそれぞれ施策がある理解です。
- ・トレーニングを例にして補足しますが、今の書き方だと課題に「体型について」と書いてあるイメージです。しかしこれは課題ではなく項目名に過ぎません。課題は「逆三角の体型にする」といった粒度(つまり上記でいう「雇用の創出」など)であり、それに対して「上半身を中心とした筋トレの実施」のような施策を紐付けるべきです。※その上で「腹囲 XXcm 以下、胸囲 XXcm 以上」という達成目標が設定される構成だと考えます。

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、別紙のとおり「基本構想と基本計画の相関図」の見直しを行っております。

○記載箇所が無いのでこちらに記入させていただきます。(藤原委員)

送付資料の中に基本構想と基本計画の相関図がありました。複雑なので総合計画の本体に挿入されるものではないと思いますが、計画の全体像を表す図は、市民や市役所の職員の方々も含め全ての関係者が、いったい自分たちはどこへ向かっているのか、どのようにして目標に到達しようとしているのかを共有する上で必要と思います。第一次糸島市長期総合計画では、列車の絵を用いて、まちづくりの基本目標や重点プロジェクトや目指す姿(最終目標)を表現してありましたが、かえって複雑になり、わかりにくかったと感じています。昨年、第2回総合計画審議会で頂いた図が私にとってはシンプルでわかりやすく、今でも頭を整理する必要がある時に時々参考にしています。この図は、まだ未完成で政策に紐づく施策は含まれておらず、その他の部分も変更が必要ですが、全体像を示す図の一つの案として考えられるのではないかと思います。関係者全員が将来像を見据えて、自分たちの立ち位置を知り、どこへ向かうのかを知ることは関係者の協働を推進する上でも重要と考えます。その為にも、総合計画

に計画の全体像を示す図を、わかりやすい形で挿入する必要があると思います。参考に、第2回総合計画審議会で頂いた基本構想の体系(案)をスキャンしたものを添付します。

【事務局対応案】

御指摘を踏まえ、「基本計画の構成」(施策体系)のページを見直し、全体像が分かるように修正します。なお、デザインについては、レイアウト 校正時に工夫を凝らしたいと思います。

基本計画の構成

章

第3章 重点課題プロジェクト

意見内容

- 〇(清原委員)
- (1)市民とまちづくりの方向性を共有する取り組みが示されていない
- (2)戦略的視点をどのようにどこから得るのかが不明であった
- という私の意見に対して、素晴らしい回答をいただきましたので、その回答を市民の皆様にも伝えられるよう、前期基本計画に明記していただきたいです。

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、次のとおり修正します。

- 「○<u>行政評価の結果に基づく、</u>各年度の施策別方針の明確化と方針に基づき、持続可能性が高く、効果的な経営資源の配分を図ります。」
- 「○<u>総合計画の内容と</u>各年度の施策別方針<u>を市民に分かりやすく公表することで、まちづくりの方向性を共有しながら、</u>持続<u>的で</u>効果的な経営資源の配分を図ります。」
- 「〇行政評価の継続実施により、施策の進捗管理の徹底と市の強みなどを生かした<u>合理的根拠に基づく</u>政策立案を推進します。」
- 「○行政評価や市民満足度調査の継続実施と併せ、市職員の経営能力向上により、施策の進捗管理の徹底と市の強みなどを生かした政策立案を推進します。」

章	第2章 行政経営戦略				
政策	(1)政策推進マネジメント				
施策	施策①行政改革の推進	ページ	P52	項目	■現状と課題■

○資料①P17 の下部の回答を受け、2 つ目に「行政サービスの利便性の向上」というキーワードを盛り込むのはいかがですか?「マイナンバーの有効活用」や「AI の活用」などは手段でしかなく、その目的はあくまで利便性の向上だと考えます。(豊田委員)

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、次のとおり修正します。

「○マイナンバーの有効活用を図るとともに、電子申請や<u>SNSを用いた</u>決済サービス、AIを活用した自動応答サービスなどの充実とあわせて、個人情報の保護についても徹底していくことが求められています。」

 \downarrow

「〇マイナンバーの有効活用を図るとともに、電子申請や<u>キャッシュレス</u>決済サービス、AIを活用した自動応答サービスなど<u>による行政サービス</u>の充実とあわせて、個人情報の保護についても徹底していくことが求められています。」

章	第2章 行政経営戦略				
政策	(1)政策推進マネジメント				
施策	施策①行政改革の推進	ページ	P52	項目	■施策に関する目標達成指標■
意見内容					

○電子申請が可能な業務は、比率で示すのはいかがですか。全申請のうち何%が電子申請可能となるかの意味です。(豊田委員)

【事務局対応案】

現状のままとさせていただきます。

理由は、現時点で、全申請を把握し、そのうちどのような申請を電子申請にすべきか、さらに技術的に可能かの判断が困難なためです。

章	第2章 行政経営戦略				
政策	(1)政策推進マネジメント				
施策	施策②効果的な組織づくりと経営感覚を持った職員の育成	ページ	P53	項目	■現状と課題■

P23 <那須委員からの新型コロナウィルス感染症についての指摘について、政策(1)災害対策、政策②防災・減災基盤の整備の部分に修正がなされていますが、この部分については、今回提出する資料④の中で修正意見を述べます>(三谷委員) P25 についても上記と同様です。

【事務局対応案】

6

章	第2章 行政経営戦略						
政策	(1)政策推進マネジメント						
施策	施策③民間事業者や大学と連携した課題解決	ページ	P54	項目	■主な取組■		
	, <u> </u>						

〇行政課題や地域課題を大学などと共有し、糸島をフィールドとして課題解決に向けた研究や取組を行い、研究成果については、情報発信に努めます。(那須委員) 情報発信について、その成果や取り組みのにかかる報告は義務だと思われます。

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、次のとおり修正します。

「〇行政課題や地域課題を大学などと共有し、糸島をフィールドとして課題解決に向けた研究や取組を行い、研究成果については、情報発信<u>に努め</u>ます。」

 \downarrow

「〇行政課題や地域課題を大学などと共有し、糸島をフィールドとして課題解決に向けた研究や取組を行い、研究成果については、情報発信<u>を行い</u>ます。」

章	第2章 行政経営戦略					
政策	(2)財務マネジメント					
施策	施策 施策②規律ある健全な財政運営 ページ P56 項目 ■主な取組■					

○p35 豊田委員の質問への対応部分「市民ニーズや緊急性,妥当性などを考慮した優先順位の設定等により・・・」の修正箇所ですが,その前に「事業の見える化を図り,」と付け加えてはどうでしょうか?優先順位の設定をしてもそれを市民に明示できないと一緒のような気がします。(三谷委員)

【事務局対応案】

御意見のとおり修正します。

「○市民ニーズや緊急性、妥当性などを考慮した優先順位の設定等により、実施計画事業の「選択と集中」を徹底します。」

 \downarrow

「○行政評価結果を公表し、市民ニーズや緊急性、妥当性などを考慮した優先順位の設定等により、実施計画事業の「選択と集中」を徹底します。」

章	第2章 行政経営戦略					
政策	(3)公共施設マネジメント					
施策	施策①公共施設の長寿命化と最適な配置	ページ	P57	項目	■主な取組■	
· 中 · · · ·						

○P39 清原委員の質問への回答「市民が利用しやすい開放的な空間を有し・・・」とありますが、施設の概略設計などに踏み込んだような「開放的な空間」を明記してよいものでしょうか。どのような施設計画になるのかわからないので、ここまで記載するのは後々問題になると思います。(三谷委員)せいぜい「市民が利用しやすく、利便性や・・・」にした方がいいと思います。

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、次のとおり修正します。

「○市民が利用しやすい開放的な空間を有し、利便性や防災機能も高い新庁舎の建設と周辺整備を行います。」

 \downarrow

「〇市民が<u>分かりやすく、</u>利便性や防災機能も高い新庁舎の建設と周辺整備を行います。」

章	第3章 重点課題プロジェクト				
重点課題	子育て・教育環境	ページ	P60	項目	■アプローチとゴール■

○アプローチの見直しに伴い、「保育所・幼稚園等から小学校へ、」部分を削除しています。(那須委員)

▶保育所・幼稚園・認定こども園等から小学校へ、小学校から中学校へと、子どもたちや保護者がスムーズに新たな環境に入っていける取組が必要です。 切れ目のないこのアプローチこそ、残すべきだと考えます。

【事務局対応案】

御意見の取組については、P3の基本目標1、政策(2)、施策①「家庭や地域と連携した教育の充実」の中で、「保育園・幼稚園・認定こども園や学校、地域と連携した活動を促進する」こととしています。

重点課題プロジェクトは、基本目標と重複計上はしないことにしていますので、修正は行いません。

○「○子どもたちが、成長に応じて環境の変化に主体的に対応しながら、社会性や人間性を身に付け、社会とつながっていることを実感できるようにする。」(那須委員) ▶主体的に対応しながら・・・部分ですがやや無理があると思われます。前回提案の「主体的に関わりながら・・・」で良いと思われます。

【事務局対応案】

御意見のとおり修正します。

「〇子どもたちが、成長に応じて環境の変化に主体的に<u>対応し</u>ながら、保護者の子育ての負担軽減も図られ、子どもたちが社会性や人間性を身に付け、社会とつながっていることを実感できるようにする。」

\downarrow

「〇子どもたちが、成長に応じて環境の変化に主体的に<u>関わり</u>ながら、保護者の子育ての負担軽減も図られ、子どもたちが社会性や人間性を身に付け、社会とつながっていることを実感できるようにする。」

重点課題 稼ぐ・経済	活性化	ページ	P62	項目	■解決すべき具体的な課題■

○「起業しやすい環境ではありません」は余りに唐突で、かつ論拠が分かりません。(豊田委員) 現状を説明するだけなら元の文章が良いのではないでしょうか?(豊田委員)

【事務局対応案】

御意見を踏まえ、次のとおり修正します。

「○起業しやすい環境ではありません。」

「○業種によっては、担い手・後継者不足が深刻化するとともに、起業家が生まれ育つ環境が整っているとはいえません。」

章	第3章 重点課題プロジェクト				
重点課題	稼ぐ・経済活性化	ページ	P62	項目	■目標達成指標■

○「将来の夢や目標をもっている中学3年生の割合」と「糸島しごと」の関連性が希薄に感じます。(豊田委員)

単純に将来糸島で働きたいと思っている割合に変更できますか?

【事務局対応案】

現状のままとさせていただきます。

理由:中学3年生の進学率は、平成30年度が99.1%、令和元年度が99.3%で中学卒業後に就職する生徒は数名です。

このため、まだ「働く」ということについてのイメージがしにくい中学3年時点では、「糸島で働きたいか」の想いを調査し、指標とするよりも、

「将来の夢や目標をもった中学生」の育成が重要であると考えます。

この将来の夢の中で、高校生活等を経て、「糸島で働きたい」との想いにつながるものと考えます。